

広報紙

ルック

第18号

入・退職のお知らせ



- ・循環器内科
保田真太郎 (やすだ しんたろう)
坂口健太 (さかぐち けんた)
- ・リウマチ膠原病内科
野中麻由美 (のなか まゆみ)
- ・消化器内科
右馬悠暉 (うば ゆうき)
桶本 大 (おけもと だい)
- ・外科
大路 博 (おおじ ひろし)
- ・整形外科
高井亮介 (たかい りょうすけ)
- ・泌尿器科
川床友哉 (かわとこ ゆうや)
辻野拓也 (つじの たくや)

入職

- ・消化器内科 (病院長補佐)
樋口和秀
- ・循環器内科
藤吉秀樹
- ・外科
阿部信貴
- ・泌尿器科
内本泰三、矢野雄介
- ・整形外科
西川祥太郎

退職

《 キャッチフレーズ 》
新しい時代へ 共に育み
チームワークで取り組む 信頼の地域医療

“物忘れ”でお困りではありませんか？

大事な約束や置いた場所を忘れる…

言葉や人の名前が浮かばない、“あれ、これ”など代名詞ばかりなど。そんな「物忘れ」は、**「認知症」**の始まりかも知れません。



軽度認知障害 (MCI) とは老化による「物忘れ」と認知症の間の状態です。“同じ話をする”、“キーワードを忘れる”など、日常生活に影響が出るほどの症状はありません。いわゆる認知症では“新しいことが覚えられない”、“理解力や判断力の低下”、“周囲の負担が増える”など日常生活に支障が出ます。

問題行動 (BPSD) は興奮したり落ち着かなくなる不穏症で、「認知症周辺症状」と訳されます。BPSDには、異常行動（徘徊、攻撃的行動）、うつ状態、不安、幻覚・妄想、睡眠障害など、さまざまな症状が含まれ、身体症状の悪化や環境の変化、周囲の人たちとの関わりの中で起こります。一人一人に症状を起こす理由があり“問題行動”として否定的に捉えるのではなく、どうしたら改善できるかという視点を持ち、ご本人に寄り添いながら解決に繋げていくことが大切です。

当院では、“物忘れが気になる”といった初期症状の早期診断と早期治療、また、介護者を悩ませる認知症に伴った精神症状などの治療に対応できるよう、**脳神経内科の外来診療**を下記の曜日に行っております。ぜひご相談ください。

月曜日（午後）・火曜日（午後）・水曜日（午前）

病院長 木村文治

受診のご相談については地域医療連携室までご連絡ください。

地域医療連携室は患者さんやご家族、地域の相談窓口です

地域医療連携室では、患者さんが自分の病態に適した医療機関で医療サービスを受けることができるように、地域の医療機関と連絡を取り合って、調整したり支援したりする役割を担っています。また、入院された患者さんには、退院後の生活への支援を医療ソーシャルワーカーは他職種と協働して行っています。

スタッフ：事務職員 4名、医療ソーシャルワーカー 4名、看護師 1名
相談時間：月曜日～金曜日 9：00～16：50 土曜日 9：00～12：00

